

沼津市監査委員告示第7号

地方自治法第199条第1項及び第5項の規定に基づき実施した、下記部課の令和7年度随時監査(工事監査)の結果を同条第9項の規定により、別紙のとおり公表する。

令和8年3月25日

沼津市監査委員	間野吉幸
同	久松但
同	植松恭一

記

実施部課 市民福祉部 こども未来創造課
教育委員会事務局 学校施設課
都市計画部 公共建築課

対象工事 令和6年度 沼津市立第四小学校校舎建築主体工事

沼 津 市 監 査 第 9 6 号

令 和 8 年 3 月 25 日

沼 津 市 長 頼 重 秀 一 様

沼 津 市 監 査 委 員 間 野 吉 幸

同 久 松 但

同 植 松 恭 一

随 時 監 査 (工 事 監 査) の 結 果 に 関 する 報 告 に つ い て

地 方 自 治 法 第 199 条 第 1 項 及 び 第 5 項 の 規 定 に 基 づ き、随 時 監 査 (工 事 監 査) を 行 っ た の
で、そ の 結 果 に 関 する 報 告 を 同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り、下 記 の と お り 提 出 し ま す。

記

1 対 象 工 事

令 和 6 年 度 沼 津 市 立 第 四 小 学 校 校 舎 建 築 主 体 工 事

2 所 管 部 課

市 民 福 祉 部 こ ど も 未 来 創 造 課

教 育 委 員 会 事 務 局 学 校 施 設 課

都 市 計 画 部 公 共 建 築 課

3 監 査 期 間

令 和 7 年 10 月 28 日 か ら 令 和 8 年 3 月 25 日 ま で

4 監査方法

沼津市監査委員監査基準に準拠し、各所管課から提出された工事請負契約書、設計図書及び工事関係書類の審査を行うとともに、各所管課から建設に至る経緯、工事全体の概要、執行状況等について説明を受け、現地調査を行った。

監査に当たっては、建設計画、事業予算、入札・契約、設計、施工が法令等に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかを主眼とし、設計図書及び技術面の調査については、専門的な知識を有する公益社団法人日本技術士会（以下「技術士会」という。）の協力を得て実施した。

5 監査結果

監査の主眼を踏まえた設計図書等の書類審査及び実地調査の結果は、おおむね適正であった。なお、軽微な注意・要望等は監査の過程において、その都度行った。

技術面の調査を委託した技術士会からの調査所見概要は次のとおりである。

6 調査所見概要

(1) 工事技術調査方針

報告書をまとめるに当たり、市の「令和7年度 工事等技術業務委託仕様」及び技術士会のマニュアルと合わせて、以下の視点で調査を行った。

ア 計画

- ・発注者の計画コンセプトに沿った設計か

イ 設計

- ・関連法規・設計基準に基づいた設計となっているか
- ・経済性に配慮した設計となっているか
- ・施工性に配慮した設計となっているか

ウ 積算

- ・数量は適切に算出されているか
- ・適正な積算がなされているか

エ 入札・契約

- ・入札及び契約は規定に基づき適正に行われているか

オ 施工及び監理

- ・施工は設計図及び特記仕様書に準拠し適切に行われているか
- ・施工管理（工程、品質、安全等）は適切に実施されているか
- ・工事監理は適切に実施されているか

(2) 所見

ア 計画

沼津市立第四小学校の校舎は主に東校舎、南東校舎、南西校舎の3棟を中心に構成されている。東校舎、南東校舎は、平成18年度（2006年度）に整備された比較的新しい校舎であるが、南西校舎の主要部分は、昭和40年度（1965年度）に整備されたもので約60年が経過している。そのため、令和3年3月に策定した「沼津市個別施設計画（公共建築物編）」に基づき、老朽化や教育環境の変化に対応するため、南西校舎の改築を行うものである。

新校舎完成後は、旧校舎である南西校舎の解体工事、渡り廊下棟建設工事及びグラウンド整備工事を予定している。

以上から、計画は適切と判断する。

イ 設計

国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」及び当工事特記仕様書に基づいている。

(7) 施設概要

RC造一部S造3階建て

昭和40年度（1965年度）に整備し老朽化した南西校舎の改築工事である。

(1) 配置計画

本工事にて建設する新校舎は、存置する東校舎、南東校舎との接続を考慮して北側に配置されている。教室への日照を考慮し、南東校舎との適切な隣棟間隔を確保して中庭を設ける計画としている。新校舎竣工後は、既設の南西校舎を解体し、跡地に新校舎と南東校舎をつなぐ渡り廊下を新設することにより、3校舎に回遊性を持たせる配置とな

っている。駐車スペースは、南東に職員用、北東に来客用を集約している。これにより、児童が登下校に使う正門と南門からの車の乗り入れが減少することになる。

(ウ) 平面計画

1階は、昇降口、昇降ホール、共用トイレ、放課後児童クラブ2室、通級教室3室、特別支援教室3室、配膳庫、渡り廊下で構成している。通級教室へは駐車場からのアクセスを考慮し、普通教室との動線を分けている。放課後児童クラブは、グラウンドへのアクセスと保護者の車での送り迎えに配慮している。共用トイレは、気軽に使えるトイレとして昇降口の隣に配置している。2階、3階には、男女トイレ、女子更衣室、普通教室3室、多目的室、配膳庫、渡り廊下が配置されている。普通教室は南向きとして日当たり・通風・採光に配慮した心地よい学習環境としている。また、狩野川と富士山がよく見える校舎北側の2階外部に活動テラスを配置し、屋外活動や植物観察等の利用を想定している。

本施設はユニバーサルデザインに配慮しており、出入口スロープにより車椅子でも容易に屋内運動場へアクセス可能で、多目的トイレも設置している。

(エ) 構造計画

新校舎は鉄筋コンクリート造、渡り廊下は鉄骨造である。校舎部分の平面形状は整形で、屋根は陸屋根である。今後の児童数減少等による教室面積の縮小や用途変更等に柔軟に対応できるように純ラーメン架構形式となっている。

構造設計は「静岡県建築基準条例」「静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン」に基づいている。構造計算時の地震荷重については、「静岡県地震地域係数（ Z_s ）」に準拠し、静岡県独自の地震地域係数 1.2 に加え建物の重要度係数 1.25 を考慮することで、建築基準法の 1.5 倍として設計している。この手法は各部位の耐震性安全目標の下記内容に該当し、最上位の強度を有している。

- ・構造部材 : I 類 (I 類 > II 類 > III 類)
- ・非構造部材 : A 類 (A 類 > B 類)
- ・建築設備 : 甲類 (甲類 > 乙類)

構造計算はルート 3 (保有水平耐力計算) で実施している。この設計により、大地震のあと、構造体の補修を最小限とすることで建築物を使用することが可能であり、人命

の安全も確保することが出来る。また、建築設備についても継続的に使用可能である。将来的には屋根にソーラーパネルを設置予定であるが、その荷重も考慮している。

基礎の選定にあたっては、地質調査データから深度 10.0m 付近の砂質・礫質層を支持地盤とした杭基礎を採用している。ストレート掘削の高支持力杭工法の中から、コスト比較を行い、既製コンクリート杭を使用したハイパーストレート工法を採用している。仕上げは以下の通りである。

- ・屋根：アスファルト防水
- ・外壁：コンクリート打放防水形複層塗材E、ALCパネル
- ・床：コンクリート仕上げ、複合フローリング
- ・内壁：石膏ボードEP-G塗
- ・天井：化粧石膏ボード

(オ)設備計画

環境対策として、イニシャルコスト・ランニングコストを押さえた設備計画としている。LEDを始めとして、トイレへの人感センサー、衛生器具には節水型の器具を採用し、省エネルギーに努めている。屋上には、太陽光発電設備の設置スペースを設け、環境負荷低減を図る計画としている。

(カ)防災・防犯計画

校舎の構造体だけでなく、設備・工作物も含めた非構造部材にも十分な耐震性を持たせ、災害避難地として安心できる安全性を確保している。断熱化や設備機器の高効率化、再生可能エネルギーの導入、パッシブな環境配慮技術の採用により、災害時に避難所となる場合の良好な温熱環境の確保ができるように防災機能を強化している。また、児童の安全確保や不審者対策のため、防犯カメラを設置している。

設計内容は、将来の用途変更に対応可能な構造形式となっており、強度的には静岡県独自の割増地震荷重を採用し、大地震に対して構造体の補修をすることなく使用可能な強度が確保されていることが確認できた。また、環境に優しい各種器具（LED人感センサー、節水型器具等）を採用している。

以上から、適切に設計されていると判断する。

ウ 積算

(7) 数量計算

数量は全ての工種で詳細に算出されている。また、主たる数量について設計書と照合した結果、合致していることを確認した。

(4) 積算

本工事の設計単価の採用は以下の優先順位で行われている。

- ・ 第一順位：静岡県建築工事標準単価積算基準(建築) (RIBC 使用)
- ・ 第二順位：刊行物
- ・ 第三順位：見積価格、3者見積で最低価格適用 (市の規定)

工事単価

- ・ 建築主体工事

1, 001, 220, 000 円/2245. 15 m²≒446, 000 円/m²≒1, 472, 000 円/坪

- ・ 全体工事 (建築主体工事+基礎杭工事+設備工事)

1, 301, 762, 000 円/2245. 15 m²≒580, 000 円/m²≒1, 914, 000 円/坪

以上から、積算については、適切に実施されていると判断する。

エ 入札・契約

(7) 建築主体工事

契約方法は制限付一般競争入札 (電子入札) である。応札者は5者で、大藤建設㈱が落札した。

- ・ 公告日：令和6年8月16日
- ・ 開札日：令和6年9月25日
- ・ 資格要件：沼津市建築工事認定Aランク業者、沼津市内に主たる営業所があること
- ・ 低入札価格調査制度適用
- ・ 週休2日制工事 (発注者指定型)
- ・ 請負金額 (税込) : 924, 000, 000 円 ※請負比率 92. 29%
- ・ 予定価格 (税込) : 1, 001, 220, 000 円
- ・ 調査基準価格 (税込) : 921, 122, 400 円

・失格基準価格（税込）： 834,826,300 円

(イ)別途工事

・電気設備工事：(株)イトー計装

予定価格（税込）： 85,426,000 円 請負金額（税込）： 84,348,000 円

・衛生設備工事：(株)植松設備工業

予定価格（税込）： 52,503,000 円 請負金額（税込）： 49,500,000 円

・空調調和設備工事：東工業(株)

予定価格（税込）： 40,084,000 円 請負金額（税込）： 39,512,000 円

・換気設備工事：東工業(株)

予定価格（税込）： 11,825,000 円 請負金額（税込）： 11,440,000 円

(全設備工事

予定価格（税込）： 189,838,000 円 請負金額（税込）： 184,800,000 円)

・基礎杭工事：富士峰建設(株)

予定価格（税込）： 110,704,000 円 請負金額（税込）： 107,800,000 円

契約業者の資格要件や選定プロセスは規定に準じて行われ、その過程は明確であり、入札・契約は適切に執行されている。

週休2日制工事（発注者指定型）は、建設業が3K産業（きつい・汚い・危険）の代表のように言われるなかで、働き方改革の一助となる新4K（給与・休暇・希望・かっこいい）になるものと期待する。

なお、別途工事の発注において、地元業者の受注機会の確保や競争の公平性、工事現場の施工性等の観点から分離・分割することが合理的であると判断できるものは、従来より別途発注を行っているとのことである。設備関係工事は本体工事の付帯工事であるからその方針で良いと思われるが、基礎杭工事は構造的に本体工事と一体のものであるため、幾つかの問題点がある。一つ目は工程管理で、基礎杭工事が遅延し、その影響で全体工程に影響が生じた場合その責任はどちらにあるのか、その調整は誰がするのかという点である。二つ目は安全管理で、例えば杭打機の転倒で事故が発生した場合、その原因は運転ミスなのか、あるいは足元の整地が悪かったのかなど、責任の所在が曖昧になることである。三つ目は建物に瑕疵が発生したときに、その原因はどちらの請負業者

にあるのかなどの判定が難しいことである。このようなリスクが発生したときに、責任の所在が明確な発注形態であるべきである。なお、地元業者の受注機会の確保という目的であれば、入札条件に付与すれば良いと思われる。

オ 施工及び監理

(ア) 施工関連書類

以下の主な施工関連書類を押印なども含め確認した。

- ・現場代理人（監理技術者）届
- ・監督員通知書
- ・労働基準監督署設置届

足場：高さ 10m以上

型枠支保工：高さ 3.5m以上

- ・定例会議議事録

月 2 度実施、そのうち 1 度は学校関係者も参加、議事録も整備されている。

- ・施工体系図（現地に掲示）、施工体制台帳

書類はよく整備されていて現地の掲示も実施している。

(イ) 施工管理（工程、品質、安全）

① 工程管理

令和 8 年 1 月末の出来高は予定・実施とも 83%で予定通りの進捗であった。（当初工期令和 8 年 2 月 21 日、変更工期令和 8 年 3 月 23 日）。なお、ネットワークによる工程表作成を評価する。

② 品質管理

以下の資料及び保有資格等を確認した。

- ・主要工種の施工計画書、作業手順書
- ・主要資格

足場組立等作業主任者：高さ 5 m以上

型枠支保工組立等作業主任者：高さ 3.5m以上

- ・建設発生土：指定地処分

※処分場が発行する受入伝票に元請業者の押印が必要と考える。

- ・基礎杭

施工計画書（ハイパーストレート工法、既製コンクリート杭）

支持層到達の確認：電気抵抗値

基礎杭偏芯量

杭芯のズレ：最大 160 mm 杭天端の上下差：最大 30 mm

照査結果原設計で補強不要

※偏芯 100 mmを超える場合は工事監理者と協議（特記仕様書）

- ・鉄骨製作工場：(有)木村溶接工業 認定番号：TFBM-203950

- ・鉄骨規格証明書

- ・鉄筋ガス圧接試験

- ・各種材料承認願

コンクリート調合計画書：スランプ、空気量、 σ 28

アスファルト配合計画書

- ・産廃・リサイクル

マニフェストによる適切処理

③安全管理

工事を行うに当たり、学校関係者の安全対策が最重要課題であると、監督員はじめ工事関係者の間で共有されている。工事場所は全体を仮囲いで仕切り、工事関係者と学校関係者が混在しないように整備されている。また、混在する既存棟改修工事は休日及び放課後に実施している。

安全について、労働安全衛生法で定められている統括安全衛生責任者（現場代理人）の主な職務は、以下の3項目がある。

A 協議会組織の設置・運営

B 作業間の連絡調整

C 作業場所の巡視

Aは月1回程度協力業者に対して労働災害の防止措置、安全教育等を実施し議事録として保管する必要がある。B及びCは業務日誌（安全衛生日誌）等に翌日の作業内容、安全上注意すべきことを協力業者と確認し、翌日現場を巡視したときにその実施

状況を記録として残す必要がある。これらの実務はきちんと行われており、現場は整理整頓が行き届き、歩行者通路も明示するなどよく管理されている。

④工事写真

工事写真は、各工種の施工段階及び工事完成後に目視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況などを撮影するものであり、工事完了後に紙とDVD-Rによる納品である。

(ウ)工事監理

工事監理は、設計図通りに施工が行われているかどうかを確認することである。監督員、設計者、監理技術者、現場代理人及び学校関係者の定例会議を月に2回開催し（学校関係者は1回参加）、議事録も保管し、関係者の情報共有、意思疎通が図られていることを確認した。また、現場の進行に応じた各種検査・立会は適切に行われている。

届出書類、定例会議議事録、施工体系図、施工体制台帳など施工関連書類はよく整備されている。品質管理については、施工計画書に基づく施工、規格に適合する材料の使用、各種品質管理試験の実施など適切に行われている。但し、建設発生土の内、残土が指定地に適切に処分されたことを確認するために、処分場が発行する「受入伝票」への押印が元請として必要である。安全管理の基本は4S（整理・整頓・清潔・清掃）であり、細かいことへの気遣いが事故ゼロ、そして良いものづくりにつながるものであるが、現場は4Sが実施されていて非常によく、監督員は適宜適切に監理を行っている。

これらの状況から、施工及び監理は適切に実施されていると判断する。

(3) むすび

本報告書をまとめるにあたり、事前に受領した詳細資料を基本とし、さらにヒアリングにより内容の確認を行った。また、現場調査をすることにより、安全・品質・工程・施工管理などが適切に行われているか確認した。

工程的にはそれほど余裕があるわけではないが、焦らず安全を最優先に、無事故・無災害で完成させることを望む。

監査対象工事概要

工 事 名	令和6年度 沼津市立第四小学校校舎建築主体工事
施 工 場 所	沼津市御幸町地内
工 事 概 要	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 建築面積 1,268.46 m ² 延床面積 2,417.44 m ²
請 負 金 額 (税 込)	(当初) 924,000,000 円 (変更) 935,869,000 円
受 注 者	静岡県沼津市大岡 1705 番地の 4 大藤建設株式会社
工 事 期 間	(当初) 令和6年12月14日から令和8年2月21日まで (変更) 令和6年12月14日から令和8年3月23日まで
所 管 課	市民福祉部 こども未来創造課 教育委員会事務局 学校施設課 都市計画部 公共建築課